

創作時代劇

長久手市文化の家 開館25周年記念公演

ぞうじした長久手〜9人の武将幻想伝〜

9人の武将って誰？
彼らは何を語るのか？
視点を変えて観る
ひと味もふた味も違う
「小牧長久手の戦い」。

戦国武将たちは、できれば戦いをしないで勝利したいと考え、そのためにさまざまな「調略活動」が行われました。家康も秀吉も各地の武将たちに分たちの仲間になるよう書状を送っています。
『ぞうじした長久手』は、そんな戦国武将のそれぞれの腹の内が表示される会話劇です！

作・演出

鹿目由紀(劇団あおきりみかん)

出演

大脇ぱんだ(文化の家創造スタッフ

/劇団B級遊撃隊)

熊埜御堂正之

ジル豆田(てんぷくプロ)

すがとも(長久手市劇団座☆NAGAKUTE)

多嘉山秀一

(長久手市劇団座☆NAGAKUTE)

二宮信也(星の女子さん)

二瓶翔輔

藤島えり子(room16)

松井真人(劇団あおきりみかん)

山形龍平(タツノオトシドコロ) (50音順)

2023年9月 9日(土)15時★

9月10日(日)11時★

15時☆

終演後★クイズコーナー☆アフタートークコーナー

ゲスト 岩崎城歴史記念館学芸員 内貴健太氏

会場 森のホール ※全席自由

料金 フレズ会員 1,500円

一般 2,000円

学生 1,000円

小中学生 無料(要整理券)

※未就学児入場不可

発売日 フレズ会員 7月1日(土)

一般 7月8日(土)



主催 長久手市
企画・制作 長久手市文化の家



このたび長久手市文化の家館長に就任しました生田創です。

私は1999年に音響技術者として文化の家にまいりました。初出勤の日に当時の事務局長から「あなたは現場ばかりでなく企画制作もやりなさい」と言われ、はて、それはどんな仕事なのだろうかと考えたものです。

最初に手がけた企画は、開館1周年記念事業「ジャガール版画展」でした。もちろん展示のノウハウはなく、何とか手探りで乗り切りましたが、その後「長久手国際オペラ声楽コンクール」の担当を任されたときは、これはさすがに無理だと思いましたが、他のコンクールを調査し、プロデューサーの故大下久見子先生の助言を得ながら試行錯誤を

続け、気がつけば10年で6回のコンクールを開催してしまいました。こうして24年間に数え切れない事業に従事するなかで、様々な分野のアーティスト、そして市民の方々と関わりながら、いわば「たたき上げ」で育てていただいて今の自分があります。

フレンズの皆さまとお付き合ひも長くなりました。20年以上前の話ですが、公演の本番日にフレンズと文化の家のスタッフが会場のホワイエに集まって朝礼(打合せ)を行うのですが、初めて説明を行うときに緊張で手が震えてしまうのがバレないよう堅いボードにせて説明書を読み上げた思い出があります。以来、自分が担当した本番は数知れず、すべての本番にはいつもフレンズスタッフの皆さまの支えがありました。フレンズは、開館当初からホールスタッフだけでなく、自主企画の実施、シアター・マネジメント・マニュアルの作成、機関誌の発行、研修の開催など、その精力的な活動は先進

モデルとして全国から注目されました。また25年に及ぶ活動の継続によってその自立性や運営基盤は揺るぎないものとなり、文化の家に不可欠な存在となつていきます。

こうした活動の足跡は単なる実績だけにとどまらず、長い年月をかけて培われたかけがえない無形の文化遺産だと言えるでしょう。文化の家の未来は、この土台の上であり、文化芸術マスタープランの理念である「ともに創る、きらめく長久手」をさらに深化させていくことが、次の25年への道標となることと信じています。

文化の家スタッフ一同、これからもフレンズの皆さまのますますの発展を心祈念申し上げますとともに、文化の家が市民や利用者のアートを通じた出会いの場となり「新しい自分との発見」をもたらす機会となるよう努めてまいります。

新職員さん紹介

よろしく
お・願・い・し・ま・す

◆4月より、文化の家施設係に異動してきました近藤一英です。

文化の家には平成20年から4年間管理係として勤務した経験があり、10年ぶりに戻って参りました。当時フレンズの皆さまとは、他館の交流事業や避難訓練などに一緒に参加したり貴重な体験をさせていただきました。引き続き、皆さまと関わることができることを大変うれしく思います。文化の家を利用する方々が素敵な時間を過ごせるよう努めて参りますのでどうぞよろしくお願ひします。

◆みなさんこんにちは。生涯学習課スポーツ係です。

スポーツ係は元々タケ池体育館の事務室で仕事をしていたのですが、令和5年度に長久手市体育施設等に指定管理者制度を導入したことにより、文化の家2階事務室に引っ越してきました。

メンバーは、**山田課長補佐**、**清水主任**、**浅野主事**の3人です。また、スポーツ推進委員、校区体育委員、スポーツ協会、レクリエーション協会と関わりがあります。

私たちは学校スポーツ開放、体育施設など大規模改修、借地事務などのほかに、イベント系では、ニュースポーツフェスティバル、愛知駅伝、ワールドラリークラシックなどの担当をしています。

どなたでも参加できるスポーツイベントもたくさんありますので、ぜひご参加お待ちしております！

◆事業係 米原美郷

4月に市民課から異動してきました米原と申します。文化芸術は初心者な私ですが、フレンズの皆さまからご指導いただきながら、少しでも早く活躍できる様頑張ります。これからもどうぞよろしくお願ひいたします！

【趣味】 お菓子作り、海外旅行
【座右の銘】 部屋の淀みは心の淀み



◆事業係 上杉あゆみ

たつせがある課から異動してきました。演劇、音楽、ダンスなどなど…文化芸術にたくさん触れて、好きなことをたくさん増やしていきたいです！よろしくお願ひします。

【趣味】 旅行、田んぼ、食べること
【座右の銘】 何より大事なことは、人生を楽しむこと



長久手の湿地

知ってほしい大切な湿地のこと

～「長久手湿地保全の会」観察会に参加して～

長久手市の地名の「くて」は本来湿地を表していると言われます。昔はどこにどんな湿地があったのでしょうか。住宅地に住んでいると想像もつきません。

昨年、長久手市で「湿地サミット」が行われたことを知り、湿地に興味をもっていったところ、去る3月16日、市のボランティアセンターの主催で、「長久手湿地保全の会」の紹介と会員募集をかねての企画があり参加の機会を得ました。

場所は八草方面のリニモ駅の近辺にあり、普段は入れないようにロープが張ってあります。うっそうと茂った雑木林の中、ボランティアの方々が作られた道を、足元に気を遣いながら進んでいくと、途中にはイノシシが砂を浴びた跡がいくつもありません。目的池のため池は2か所あり、どちらにも護岸工事など、人の手が加わっていない自然な湿地が残されていました。

その日はまだ花の時期には早く枯れ草ばかりでしたが、春をいち早く知らせる「ハルリンドウ」を3輪見られたのは幸運でした。この小さくて可愛らしい花は、湿地という過酷な環境の中で、変わった受粉の方法をとって生き延びています。また、湿地に自生している食虫植物の説明があり、私はつきり虫だけを栄養にして生きているのかと思っていたら、普通に光合成も行いながら、湿地に足りない窒素やリンなどの栄養を虫で補給しているのだそうです。このほかにも、絶滅の危機にあるものも含めてさまざまな湿地特有の生き物がいることを知りました。

湿地とはどういう場所？ なぜ必要？

湿地には「ラムサール条約」によつて決められた定義がありますが、湿原、湖沼、ダム湖、河川、ため池、湧水地、水田、遊水池、地下水系、塩性湿地、マングローブ林、干潟、藻場、サンゴ礁などが含まれます。

湿地はなぜ必要かというところ

①淡水の供給源②汚れた水を浄化する③川の氾濫を抑え干ばつの備えになる。④食料の供給源⑤生物多様性にとってかけがえがない、などの理由により。過去、湿地は役に立たないものと思われ、世界中で失われてきました。今では保全と再生のための活動が行われています。

そういった活動ができない私たちにできることは、例えば水の節約やゴミを減らすこと。また庭のある人は、肥料を最小限にし、有害な殺虫剤や農薬の使用は控えるなど、自然や環境を守ることです。

自然の中では みんな優しく

森の出口にさしかかると、澄み切った青空のもと、薄紫色のホトケノザの群落に出会い歓声があがりました。自然の中で、みんな楽しくなり、優しい気持ちになれた観察会でした。

参考・引用 環境省ホームページ

(二村)



水はとてもきれいでした。



静かに水をたたえる一つ目の池。



ハルリンドウ
花期は3～5月
日当たりの良いやや湿った山野や湿地に生える。群生するところが多い。

二つ目の池は赤味を帯びています。



鉄分を含んだ土から澄んだ水が絶え間なく湧き出ています。



長久手市文化の家は開館から25周年を迎えます



長久手市文化の家は平成10年7月に開館し、今年で25周年を迎えます。25年という時間の中で、たくさんの市民の方々に支えられながら、移りゆく長久手を見届けてきました。そこで、文化の家のこれまでの歴史を振り返り、市民の皆様への感謝の思いを音楽・食・アートで伝える「長久手市文化の家開館25周年記念 25th祭り」を開催します。

イベント内容

長久手の音を紡ぐ 川上ミネピアノコンサート

概要 本市出身で世界的なアーティストである川上ミネ氏が、市内10か所の風景から10曲の作品を作り、選ばれた風景の映像と素晴らしいピアノの音色が織りなす特別な時間をお届けします。
日時 令和5年7月15日(土) 午後3時開演(午後2時30分開場)
場所 長久手市文化の家 森のホール

ながくてマルシェ & ART SHOP

概要 長久手初のクラフトビール、長久手産の食材など、“ながくて”をキーワードにモノ・ヒト・フードが集まるマルシェを開催します。また、愛知県立芸術大学生や卒業生が制作した作品を購入できるアートショップも開催します。
日時 令和5年7月15日(土)～7月16日(日)
 ※時間は文化の家HPでご確認ください。
場所 長久手市文化の家
 1階・2階パブリックスペース、2階情報ラウンジ

文化の家アーカイブ展

概要 文化の家25年間のあゆみを、館内を歩きながら体感する特別展です。
 懐かしの写真や貴重な公演映像など、今しか見ることができない所蔵品をお披露目します。
日時 令和5年7月1日(土)～7月30日(日)
場所 長久手市文化の家1階・2階パブリックスペース、1階展示室

地元愛知のプロオーケストラ、中部フィルハーモニー交響楽団との提携事業として、親子向けコンサートを行います。シンフォニック・ポップスの第一人者、藤野浩一氏を指揮に迎え、氏のアレンジによる著名映画音楽の数々をお聴きいただけます。アメリカで活躍するクラウン(道化師)の岩佐麻里子氏のパフォーマンスと併せて、コンサートを見たり聴いたりすることで、子どもたちの「楽しむ感覚」を育てるプログラムとなっています。夏休みの土曜日、ぜひご家族いっしょにご来場ください。



8月19日(土)
 森のホール 15時開演 14時30分開場
 チケット 一般3,000円 フレンズ2,500円
 中学生から25歳まで1,000円 小学生500円



ホール見学 SHOW

日時：8月24日(木) 午後2時～
場所：長久手市文化の家 森のホール
料金：入場無料(要 申込)
内容：毎年子どもたちに大好評のホール見学SHOW!! ブラックトミーと文化の家創造スタッフが文化の家を大冒険! 変形する客席、どこからともなく聞こえてくる謎の声・・・突如、魔界に迷い込んでしまったブラックトミーたち。そこに現れる魔物に、ブラックトミーたちはアートの力で立ち向かうことができるのか!?

「あなたのおふるさとはどこですか?」
 私は生まれてから6年余りを過ごした世田谷区Y町です。
 両親は満州から引き揚げ、紆余曲折の後、父がサラリーマンの職を得て、都営住宅に落ち着きました。まわりは一面の麦畑で富士山も見えました。
 戸建てで、敷地は百坪もあり、両親が庭に桃、梅、柿、梨、いちじくなどの果樹、八重桜、椿、猫柳、マーガレット、鳳仙花、おしろい花、山吹などたくさんのお花々、トウモロコシなどの野菜を植えても、近所の子たちと缶蹴りをするゆとりがありました。でも私は外で遊ぶより「きいちのぬり絵」が好きでした。
 水道はまだなくて共同井戸。わが家におしゃべりをしにきた近所のおばさんたちのお茶うけは、ふかし芋でした。
 その後都会に引っ越しましたが、自然も人間ものんびりしていたこの場所は、当時のまま、私の中で生き生きと存在し続けています。

ほっと

すべーす

ふるさとの思い出
 長久手市 M・F

